

各位



NTT データ地銀共同センターの「共助モデル」高度化に参画 ～モノ・ナレッジ・ヒトの相互共助により、地域金融機関の共通課題に対応～

株式会社池田泉州銀行（頭取CEO阪口 広一）は、株式会社 NTT データと地銀共同センター※1 参加行とともに、共助モデルの高度化に取り組むことをお知らせします。

将来的な人口減少、IT人材不足といったこれまでの課題に加え、高度化・巧妙化するサイバー攻撃、AI等の新技術への対応など、急速な環境変化を踏まえ、システム共同利用の枠組みを超え、業務プロセスにも踏み込んだ、新たな共助モデルが必要であるとの認識のもと、この取り組みに参画しています。

具体的には、金融庁「金融分野におけるサイバーセキュリティに関するガイドライン」に基づく対策高度化の共同推進、融資をはじめとする専門性の高い業務の高度化・省力化を目指したAIサービスの実装・共同研究、デジタル技術を活用したオペレーション改革の共同検討を開始しています。

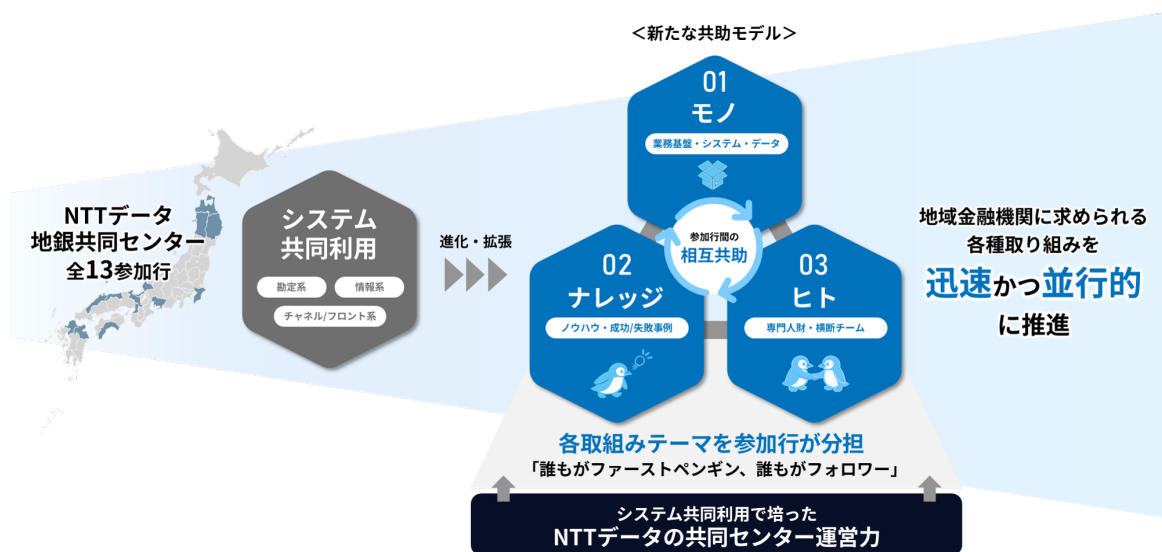


図1. 地銀共同センターが目指す共助モデルの高度化・拡張イメージ

共助モデルは、参加行が「モノ・ナレッジ・ヒト」の3要素を相互に活用し、支え合いながら全体最適を実現する取り組みです。安心・安全で持続可能な金融サービスを提供することで、お客さまにより一層質の高いサービスをお届けできるよう努めてまいります。

当行は、今後も経営資源の効率化を図るとともに、お客さまのニーズへお応えするため、利便性ならびにサービスの向上に取り組んでまいります。

※1 NTTデータが構築・運営する、地方銀行・第二地方銀行向け基幹系共同センター。参加行は以下の通り(利用開始および銀行コード順) 京都銀行、千葉興業銀行、岩手銀行、池田泉州銀行、あいち銀行、福井銀行、青森みちのく銀行、秋田銀行、四国銀行、鳥取銀行、西日本シティ銀行、大分銀行、山陰合同銀行

以上